作成日: 2014年01月15日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 :塩基性炭酸鉛(II)
会社名 :純正化学株式会社
住所 :埼玉県越谷市大間野町1-6
担当部署 :品質保証部
電話 :048-986-6161
FAX :048-989-2787
E-mail :shiyaku-t@junsei.co.jp
製品番号(SDS NO) :19440jis-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類
健康に対する有害性
発がん性:区分 1B
生殖毒性:区分 1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1
環境有害性
水生環境有害性(長期間):区分 4
(註)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

注意喚起語:危険
危険有害性情報
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ
注意書き
安全対策
使用前に取扱い説明書を入手する。
取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
取扱い後は汚染個所をよく洗う。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
指定された個人用保護具を使用する。
応急措置
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師に連絡する。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
貯蔵
施錠して保管する。
廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :単一物質
成分名:塩基性炭酸鉛(II)
含有量(%):98.0 <
化学式:C2H2O8Pb3
化審法番号:1-148
CAS No.:1319-46-6
化管(PRTR)法:化管法特定第1種
化管法政令番号:特1-305
ECNO:215-290-6

危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
塩基性炭酸鉛(II)
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
塩基性炭酸鉛(II)
化管法「指定化学物質」該当成分
塩基性炭酸鉛(II)

4. 応急措置

一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受ける。
ばく露した場合:医師に連絡する。
ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡する。

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。

目に入った場合
水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合
口をすすぐ。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性
加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護
防火服／防炎服／耐火服を着用する。
断熱手袋/保護眼鏡/保護面を着用する。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
指定された個人用保護具を使用する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。－禁煙。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手する。
保護手袋/保護衣/保護面を着用する。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉する。
涼しいところに置き、日光から避ける。
換気の良い場所で保管する。
施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

作業環境評価基準(2004) <= 0.05 mg-Pb/m3

許容濃度

日本産衛学会(1982) 0.1mg-Pb/m3
ACGIH(1991) TWA: 0.05mg-Pb/m3 (中枢および末梢神経系損傷; 血液影響)

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

空気呼吸器(SCBA)を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗う。
この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

9. 物理的及び化学的性質
物理的状態
形状 :粉末
色 :白色
臭いデータなし
pHデータなし
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
初留点/沸点データなし
融点/凝固点 :400℃
分解温度 :400℃
引火点データなし
自然発火温度データなし
蒸気圧データなし
蒸気密度データなし
相対蒸気密度(空気=1)データなし
比重/密度 :6.14g/cm3
溶解度
水に対する溶解度 :不溶
溶媒に対する溶解度 :希硝酸、希酢酸に溶ける。
n-オクタノール／水分配係数データなし

10. 安定性及び反応性
安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
フッ素と激しく反応し、火災の危険をもたらす。
避けるべき条件
混蝕危険物質との接触。
加熱.
混触危険物質
強酸、強酸化性物質、フッ素.
危険有害な分解生成物
炭素酸化物、酸化鉛

11. 有害性情報
物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状
急性毒性データなし
労働基準法 疾病化学物質
塩基性炭酸鉛(II)
局所効果データなし
感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
催奇形性データなし
発がん性
(炭酸鉛(II))IARC-Gr.2A(無機鉛化合物) ; ヒトに対しておそらく発がん性を示す。
(炭酸鉛(II))ACGIH-A3(1991)(Pbとして) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不

明
(炭酸鉛(II))日本産衛学会-2B(鉛および鉛化合物(無機)):人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質
生殖毒性
生殖毒性区分1 成分データ
(炭酸鉛(II)) ACGIH, 2005
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性 単回ばく露区分1 成分データ
(炭酸鉛(II)) 中枢神経系、血液、腎臓 (ACGIH, 2005)
特定標的臓器毒性 反復ばく露区分1 成分データ
(炭酸鉛(II)) 中枢神経系、血液、腎臓 (ACGIH, 2005)
吸引性呼吸器有害性データなし
その他情報
炭酸鉛(II)のデータを参照した。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
長期継続的影響により水生生物に有害のおそれ
水生毒性 成分データ
(炭酸鉛(II))
魚類(ファットヘッドミノー) LC50 > 5000mg/L/96hr (AQUIRE, 2003)
水溶解度
(炭酸鉛(II))
0.00011 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)
残留性・分解性データなし
生体蓄積性データなし
その他情報
炭酸鉛(II)のデータを参照した。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
環境への放出を避ける。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号に該当しない

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当する化学品を意図的成分として含有せず、
購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。
労働安全衛生法
名称表示危険/有害物(令18条):
塩基性炭酸鉛(II)(区分内番号24)
鉛化合物(鉛予防則第1条第4号):
塩基性炭酸鉛(II)
名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):
塩基性炭酸鉛(II)(区分内番号411)

化学物質管理促進(PRTR)法
特定第1種指定化学物質：
塩基性炭酸鉛(II)(特1-305)
消防法に該当しない。
大気汚染防止法
塩基性炭酸鉛(II)(有害物質)
特別管理産業廃棄物：特定有害産業廃棄物
塩基性炭酸鉛(II)
土壌汚染対策法
第二種特定有害物質 重金属等
塩基性炭酸鉛(II)
水質汚濁防止法
塩基性炭酸鉛(II)
法令番号 4: C 0.1mg/liter

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2013 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html
JIS Z 7253 (2012年)
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html
事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版,経済産業省)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。